

安否確認～避難所開設～避難～避難者受入訓練

地区名：鶴嶺東地区

日付：令和5年11月5日（日）

会場：鶴嶺小中学校、円蔵小中学校、浜之郷小学校、鶴が台小中学校

安否確認参加世帯数：4,678世帯（地区全世帯数：6,874世帯）

避難訓練参加人数：596人

自主防災組織	地域住民	配備職員	防災対策課員
104人	492人	38人	8人

防災訓練の内容とポイント＜実際さながらの避難訓練＞

地域住民の全員参加を目標に、大規模地震発生の想定の下、前半に自治会ごとの安否確認訓練を行い、後半に地区避難所7か所を使用した地域住民の避難訓練、自主防災組織・茅ヶ崎市による避難所開設・避難者受け入れ・待機場所への案内・トランシーバーを用いた情報伝達訓練・避難所生活の心構え説明会、と一連の流れの中で実際の災害発生時さながらの防災訓練を行いました。

安否確認訓練では、全世帯のうち68.1%の世帯について安否確認が行われ、避難行動要支援者については81.3%の安否確認が行われ、地区として安否確認の体制が年々確実なものになりつつあることを実感できました。

避難訓練では、自主防災組織が避難者の受付と待機場所を体育館に設置して避難者を受け入れ、その後市の配備職員の皆さんに適当な人数ごとに避難所生活での心構えを説明していただきました。

当初避難者数が想定できず当日は大混乱になることを心配していましたが、避難者受付での対応を工夫した結果、渋滞無くスムーズに一連の流れを作ることができたと思います。



鶴嶺中学校体育館

避難所説明会

避難者待機場所

受付

避難所説明会
(20～30人単位で実施)

防災訓練の感想

自主防災組織としては、実際の避難所を使い多数の避難者を支障なく受け入れできるか、実際さながらの対応を体験して検証できたことは非常に意義のあることだったと思います。一方、アンケート結果によると、地域住民の皆さん8割以上の方が避難所を体験できてよかったとの回答をいただき、今後もこの訓練を続けていく価値があると実感できました。